分散的労働組合は今、無力であることが立証され組合運動統一化の気分すらに現れ、全国的統一の必要性が強くなるにつれ、[illegible]
如き大衆の要求を代表せるものであった。然し乍らこの試は客観的情勢の未熟と組合の要求[illegible]
遂なる和合意識のために遂に完全に失敗に了った。

然し乍ら労働運動統一の必要は厳来益々切実に感ぜられ、我国労働運動の中心勢力となり、統一[illegible]
も此の使命を遂行せんとして宣言するに至った。然るに其後半歳、大正十四年総同盟の分裂[illegible]
破産せしめられ、無産階級の陣営は新たなる対立関係、謂わば左翼と右翼の対立闘争を発生するに至った。

評議会の脱退は、[illegible]発生的に見るならば、明かに大正十年度大会宣言に対する[illegible]
裂である。大正十年秋、産階級運動の方向転換が宣言され、『綱領三年間、現実的』『大衆的』なる標語の下に
統一の政策が遂行された。然るに此の方向転換道程に、その内部に於て、支配階級の懐柔的政策に至合し
無産階級の利害を裏切らんとする日和見主義的分派を発生せしめた。此の分派は又、総同盟中に主義に徹
入り全日本の労働組合統一に対し補強的になりつゝあった。然し乍らかゝる日和見的分離反抗として、自
ら別個の組織を持つに至った所謂、左翼は、立憲たる革命派に立脚し、而も観念的分派運動の結果は常
に利己的運動に堕するに至った。大正十四年十月以来、評議会によって企てられたる、地方及び全国組合会議の結成
運動は、十五年秋に至り全国組合会議に於いて完全に失敗した。実にこの会議は全国に散在する分立的労働組
合の現状を組織し、先ず之を自己の勢力の下に置かんとする左翼と、この左翼との対立抗争のうちに自ら極

右翼化せる総同盟右翼幹部との聯意なる抗争舞台と化したのであった。全国的統一と産業別整理のためには自らの
解体を辞せずと言明せる左翼はその後の試練によって労働組合運動を分裂に導き、運動の全体的統一
阻止する者たることが暴露されたのである。かゝる極右翼との対立闘争は無産政党組織運動の発展に共にい
よ激烈化し複雑化しきたった。我国の資本主義は大正九年以来の不景気を通じて益集中的に発展し、無産階級
動に対する層となり無産階級の闘争形式はかくて一大変化を要求するに至った。資本主義の全般的攻勢に対する闘
争は政治闘争によりてのみ可能であることが実証された。かくて無産政党の組織運動は大衆的要求の中心
動策さるゝことゝなった。

然し既に分散されたる組合運動の状態の故に、他方又、支配階級の意識的分裂政策の故に、単一政党は遂
実現され得なかった。政治的意見の相違は、漸次なる内部闘争と換言し、分散的に対立せる組合間係は、此の
部的闘争の主体となって対立した。農民労働党結党以来の大混乱は、数個の政党を発生せしめ、極度の
分散的組合運動の各々の形態と密着するに至った。今日の組合運動の状態は、政治運動と密接なる分散状態
形態として分散的形態は更に又強度意識の上からみて、かゝる状態を以ってしては全国組合運動の全体的統一は
事実上絶望的要求以外に何等の可能性をも持たない。

小況病的左翼と、日和見主義的極左翼との対立抗争によって導かれたる無産階級運動の極度の混乱と
ついに我が組合同盟は生れた。我等は生るべき必然性をもって生れた。総同盟の内部に在って戦へる隠忍